



母校だより

◆◆◆ 校友会事務局 大久保 易 (高30回)

東京支部会員の皆様、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。現在新校舎の建設は第二体育館とグラウンドの工事が進んでいます。諸事情により予定工期より1ヶ月ほど遅れていますが、1月には第二体育館（大体育館）も完成し、卒業式は新しい体育館で実施できることとなります。3年生にとっては、新しい体育館での初めての式（柿落し）ということで、2年間もの長い期間体育館を使えなかったという不便な思いを差し引いても、楽しみなこととなります。

《部活動の活躍》

ここ数年、部活動の活躍で校内は盛り上がっています。特に今年はテニス部女子が念願の県総体を制覇し、初のインターハイに出場を勝ち取りました。団体女子と個人でのダブルの出場です。さらに8月2日から埼玉県で開催されたインターハイでは、団体女子が見事に1回戦を突破し、校内のみにとどまらず、新潟県の高校テニス界に大きな影響を与えました。伝統あるテニス部は過去に男子の活躍は何度かありましたが、女子の活躍は記憶になく、また主力が1年生であることから、今後ますますの活躍が期待されます。校長室には誇らしげに優勝旗が飾られています。

陸上部はここ数年安定した成績を残しています。今年もインターハイに女子走り高跳びの選手を送りました。また、長距離に全国レベルの有望な選手が多くいます。今後の活躍に期待が持てます。野球部はここ数年安定した力を発揮し、県大会の常連校

として虎視眈々と上位大会出場の機を狙っています。グラウンド工事中であり、日々の練習が十分にできないというハンデを持ちながら、念願の甲子園を目指してがんばっています。

さらにバスケットボール、バレーボール、バドミントンをはじめ、それぞれの部がそれぞれの目標に向かって邁進しています。

文化部に目を移すと、特に将棋部の活躍はすばらしいものです。今年の高校文化祭では全国の強豪校を次々と破り、見事全国5位を勝ち取りました。さらに、百人一首かるた部も全国大会へ進むなど、大活躍が続いています。

ここ数年の特徴として、ラグビー部をはじめ、それぞれの部でOBの方々のご協力が多く寄せられていることがあります。いくつかの部ではOB会が充実しており、恒常的に部活動をサポートしていただいているところもあります。ここにも伝統校「高田高校」のすばらしさが現れていると感じます。

《夏休みまでの行事紹介》

平成20年は4月4日の始業式で始まり、以下のような行事が行われます。

■オリエンテーション合宿（1年生）

妙高自然の家にて1泊2日の共同生活を行います。高田高校生としての自覚・仲間意識・勉強に取り組む態度等研修します。

■創立記念講演会

5月16日の創立記念日に校友の方を講師に招き講演をしていただきます。「先輩」の話を知ることによって在校生にとって楽しい講演会の一つです。

■高高祭

生徒にとっては最大のイベントです。1年生は催し物、2年生はバザー、3年生は演劇と大忙しの2日間です。特に演劇は地域の方々の期待が大きく、会場があふれるばかりの盛況となります。

■前期中間考査

平成11年より2学期制を導入しました。4月より9月までが前期です。10月より3月までが後期となります。2学期制の良いところは、3学期制では年間の定期考査が5回であることに対して、2学期制では4回であり1回減るために、余裕を持って日々の授業に取り組めることです。

近隣の高校でも2学期制を取り入れているところがありますが、運動部の大会等で考査と日程が近くなるという不便な点もあります。今年は6月24日から28日にかけて前期中間考査が実施されました。

■球技大会

夏休み前の生徒の楽しみな行事です。グラウンドが使えないため生徒会の創意工夫により3カ所会場で3日間実施されました。現在の球技大会は各学年に分かれ、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ドッジボールなどの種目が、クラス対抗戦で行われます。特に2・3年はクラスでおそろいのTシャツを作ったり、応援を工夫したりする姿が印象的です。

これらの行事が終わると夏休みとなりま

す。今も昔もやはり夏休みはうれしいものです。しかし、ここ数年で夏休みの様子も様変わりしてきました。

生徒にとって非常に忙しい夏休みとなりました。夏休みと同時に伝統ある全校登山があります。その後に、3年生の学習合宿(3泊4日)、2年生のオープンキャンパス参加(1泊2日)、理数科理数特論(5日間)、夏季補習、模擬試験…。

3年生に至っては、土日を除くとわずか5日間だけの夏休みです。この傾向は全国的であり、受験勉強がいかに学校の主導で行われるようになったかということの現れでしょうか。善し悪しはともかくとして、夏休みになれば自由な時間が豊富にあった昔とは様相が違います。夏休み以降の行事については、またの機会に報告させていただきます。

《進学実績》

平成20年春卒業生は、大変素晴らしい成績を残すことができました。東大2人・京大3人(いずれも現役)もさることながら、国公立大学は過去最高の合格者数でありました(現役合格者182人、現役進学者168人)。

そのすばらしさは、合格率の高さにあります。さらに私立の難関大学にも例年以上の成績を残し、多くの生徒の進路希望が実現しました。3年生は今受験勉強の真最中です。「高田高校ここにあり」の精神でがんばっています。

進路状況(平成19年3月卒業生)

	国立大学	私立大学	4年制大学計	短大	専門各種学校	海外の大学	文科管轄外	就職	予備校等	合計
進学者数	168	79	247	5	6	1	0	0	51	310
合格率	54.2%	44.2%		66.7%	100.0%	100.0%				

※文中の人数は合格者数であり、表中の人数は進学者数です。